

## PRESTO™ A40

### 6Lのガラス反応容器を +20°Cから設定できる最低温度まで 冷却運転

#### 目的

このケーススタディはユラボPRESTO™ A40の冷却能力を6Lのガラス反応容器でテストしたものです。ユラボPRESTO™ A40を2mのメタルチューブ2本で6Lのガラス反応容器に接続し+20°Cから設定できる最低温度まで冷却するようにプログラムされています。

#### 環境

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	230 V / 50 Hz

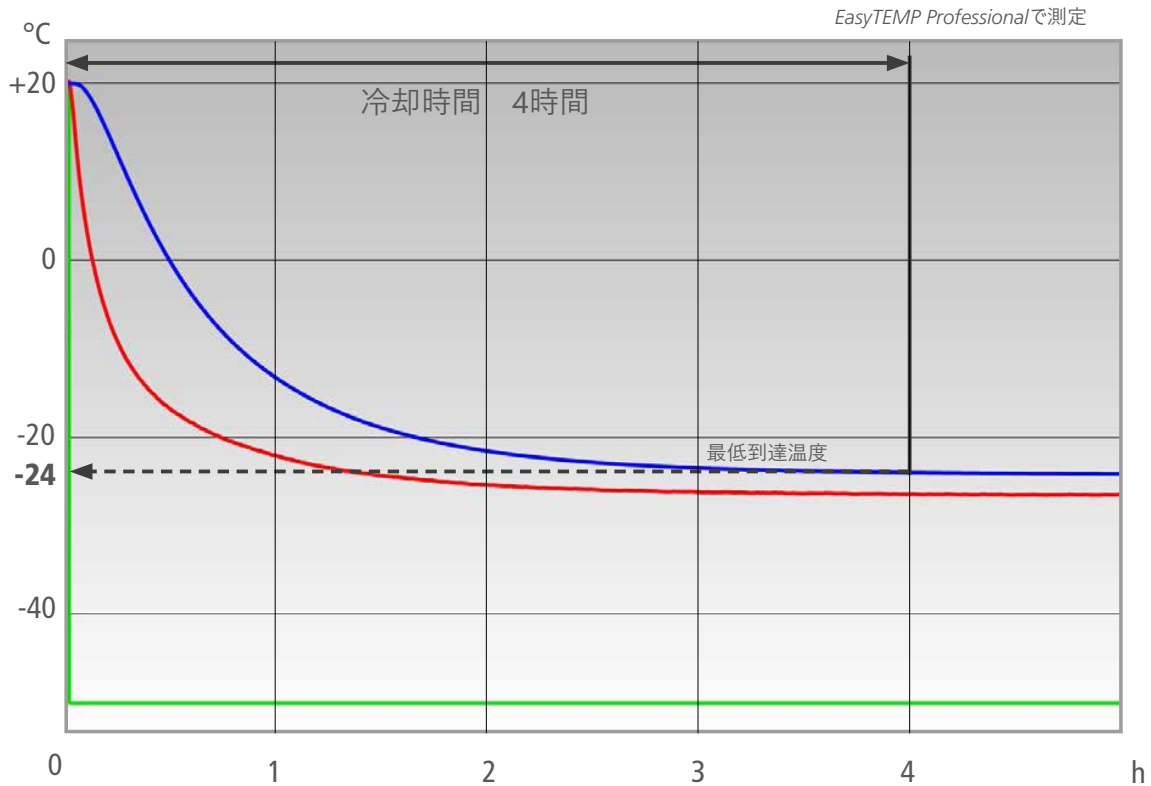
#### テスト条件

ユラボ装置	PRESTO™ A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 0.9 kW -20 °C 0.6 kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	無し
吐出圧	0.5 bar
循環液	ユラボサーマル HL60
反応容器	6Lガラス反応容器 (QVF) を 5LのサーマルHL60で満たしています
ジャケット容量	4.5L
温度制御	外部温度制御 (ICC)



## テスト結果

PRESTO™ A40で6L反応容器は+20°Cが4時間で-24°Cまで冷却されました。



- 設定温度
- 反応容器内温度
- ジャケット温度

